

令和5年度

2学年 社会科 年間指導計画・評価計画

担当〔永澤 樹〕

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	・知識に結びつく用語等をわかりやすく提示し、覚える内容を基礎・基本となる最小限の内容に抑える。 ・社会科の3技能「情報を収集する、情報を読み取る、情報をまとめる」を単元や各授業で効果的に定着や活用場面を設定する。	・単元を見通した問いを追究させる学習過程を設定し、学んだことを整理し、関連づけ、まとめる等のアウトプットする学習場面をつくる。 ・各授業の振り返りを実施し、1時間の授業で学んだ内容をまとめる等のアウトプットする学習場面を設定する。	・単元を見通した問いに対する各自の予想である「見通し」を設定させ、本時での学びが課題追究となる学習場面を設定する。 ・生徒の疑問や知りたいことをできる限り授業に反映して、授業を構築する。	・クラスルームを活用し、生徒の学習状況を把握し、助言や指導を実施するなど、学習改善につながる評価をできる限りこまめに行う。 ・記録に残す評価については、評価基準を生徒と共有した上で、(全員B基準以上を前提として)生徒自身が目指す目標を設定できるようにする。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめり）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	歴史 2-1 ①結びつく世界との出会い	タブレット 大型ディスプレイ	5	単元の問い(仮)「ヨーロッパの国々が世界に進出したことで、日本を含めたアジア諸国はどのような影響を受けたのだろうか？」 ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響を基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ・ルネサンスや宗教改革、新航路開拓など、14～16世紀に起こった歴史的事象やヨーロッパ人の来航による日本への影響などに関する資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。		
5	歴史 2-2 天下統一への歩み 幕藩体制の確立と鎖国	大型ディスプレイ タブレット	7	単元の問い(仮)「桃山文化は、それ以前の文化とどのような違いがあるだろうか。その違いはどのような政治や社会の動きから生まれたのだろうか？」 ・織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べ、まとめ、近世社会の基礎が作られたことを理解している。	・14～16世紀に起こった歴史的事象の特色とヨーロッパ人の来航による日本への影響など交易の広がりとその影響などに着目して、事象を関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、相互に結果を表現している。	・ヨーロッパ人の来航による日本の社会への影響について、よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
6	歴史 2-3 経済の成長と幕政の改革	大型ディスプレイ タブレット	6	単元の問い(仮)「なぜ町人が文化の担い手となったのだろうか、結果、都市や各地方にどのような生活文化が生まれたのだろうか？」 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学	・統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化などに着目して、事象を関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、相互に結果を表現している。	・織田・豊臣政権下、江戸幕府の政策などと中世社会の比較をしたりして、よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

				問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 ・経済の発達と都市の繁栄、町人文化や各地方の生活文化、政治の行き詰まりと繰り返される政治改革、新しい学問や思想に関する資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	している。	・次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
6 7	地理2-6 中部地方	大型ディスプレイ タブレット	6	単元の問い(例)「東海地方・北陸地方・中央高地の産業の発展にはどのような要因があるだろうか？」		
				・中部地方の産業を中核とした考察をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・中部地方の産業の実態を表す諸資料から地域的特色を示す有用な情報を読み取り、活用できている。	・中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察をもとに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・中部地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
7	地理 2-4 関東地方	大型ディスプレイ タブレット	6	単元の問い(仮)「都内巡りに向けて自分たちが住んでいる関東地方の疑問をみつけよう？」		
				・関東地方の地形や気候の特色、首都機能、東京大都市圏の拡大、人口が集中することによって発展した産業の特色、京浜工業地帯、京葉工業地域、北関東工業地域の特色などを基に、関東地方の地域的特色や課題を理解している。 ・交通や通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解している。 ・地図や雨温図から関東地方の地形や気候の特色を適切に読み取る。 ・主題図や統計資料、景観写真等の各種資料を用いて、焦点化された事例である東京大都市圏が鉄道網に沿って放射状に拡大していることや第三次産業が盛んであることなどを適切に読み取っている。	・関東地方において、交通や通信を中核設定した事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・関東地方に関する学習について、見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
9	地理 2-5 東北地方	大型ディスプレイ タブレット	6	単元の問い(例)「東北地方の伝統的な生活や文化は、社会の変化にともないどのように変わっているのだろうか？」		
				・東北地方の位置や自然環境および歴史、産業の特色を理解するとともに、人々の生活の変化が東北地方の産業にどのように影響しているのかを理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、活用できている。	・東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえるとともに、東日本大震災による人々の生活の変化と、それにとまなう東北地方の産業の課題について表現している。	・東北地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・次の学習へのつながりを見出そうとしている。
10	歴史 2-6 近代世界の確立とアジア	大型ディスプレイ タブレット	6	単元の問い(仮)「なぜ幕府の政治は、様々な取組をしたにもかかわらず、行き詰まりをみせたのだろうか？」		
				・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出し	・市民革命が起こった背景や産業革命がもたらした影響および欧米諸国のアジアへの進出や開国が、幕府の政策や社会の変化に与えた影響などに着目して、	・幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことについて、よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、

				たことを理解している。 ・議会政治の始まりや産業革命によって資本主義社会が成立したこと、それにともなうアジアへの影響および開国するまでの経緯や、開国後に攘夷運動が高まり江戸幕府が滅亡に至るまでの過程について、様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	事象を関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、相互に結果を表現している。	学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 ・次の学習へのつながりを見いだそうとしている。
11	歴史 2-7 開国と幕府政治の終わり ①明治維新と立憲国家への歩み ②近代の産業と文化の発展	大型ディスプレイ タブレット	7	単元の問い(仮)「なぜ、明治政府は富国強兵・殖産興業政策といった政治の改革を進めることができたのだろうか？」		
				・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・富国強兵の諸改革、殖産興業による近代産業の育成、文明開化の動き、立憲国家の成立、産業の発展に関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・新政府による政治の改革のねらいや、明治維新による人々の生活の変化など、また産業革命が国民生活に与えた影響などに着目して、事象を関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、相互に結果を表現している。
12	歴史 2-8 激動する東アジアと日清・日露戦争	大型ディスプレイ タブレット	7	単元の問い(仮)「なぜ、明治政府は立憲制の国家を目指したのだろうか？」		
				・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・日清・日露戦争における日本の国際的地位が向上したことを、帝国主義により激動する東アジアの動きと関連させながら、様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・日清・日露戦争などの対外的な動きが、国内や国際社会へ与えた影響などに着目して、事象を関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、相互に結果を表現している。	・急速に近代化した我が国へ大きな影響を与えた戦争に対する関心を高め、条約改正から日本の国際的地位が向上するまでの経緯について、よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
1	歴史 2-9 激動する東アジアと日清・日露戦争	大型ディスプレイ タブレット	7	単元の問い(仮)「なぜ、明治政府は立憲制の国家を目指したのだろうか？」		
				・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・日清・日露戦争における日本の国際的地位が向上したことを、帝国主義により激動する東アジアの動きと関連させながら、様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	・日清・日露戦争などの対外的な動きが、国内や国際社会へ与えた影響などに着目して、事象を関連付けるなどして、多面的・多角的に考察し、相互に結果を表現している。	・急速に近代化した我が国へ大きな影響を与えた戦争に対する関心を高め、条約改正から日本の国際的地位が向上するまでの経緯について、よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
2	地理2ー10 北海道地方	大型ディスプレイ タブレット	4	単元の問い(例)「北海道地方では冷涼で広大な自然をどのように生かしているのだろうか？」		
				・北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	・自然環境に関する特色あることがらに注目して、文化や産業との関わりなどと関連づけて多面的・多角	・北海道地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を

				・地図や雨温図、統計資料など、北海道地方の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、活用できている。	的に考察し、表現している。	振り返りながら課題を追究しようとしている。よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
2 3	地理 身近な地域の調査 地理4 身近な地域の構想	タブレット 大型ディスプレイ	3	単元の問い(仮)「大泉中学校周辺地域がより安心・安全な地域となるための安全マップを構想しよう？」		
				・大泉中学校周辺の地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。	・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野に見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
評価材および評価方法				【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○定期考査○小テスト	【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○定期考査○レポート	【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○振り返りシート

令和5年度

2学年 社会科 年間指導計画・評価計画

担当【松本】

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。	・知識に結びつく用語等をわかりやすく提示し、覚える内容を基礎・基本となる最小限の内容に抑える。 ・社会科の3技能「情報を収集する、情報を読み取る、情報をまとめる」を単元や各授業で効果的に定着や活用場面を設定する。	・単元を見通した問いを追究させる学習過程を設定し、学んだことを整理し、関連づけ、まとめる等のアウトプットする学習場面をつくる。 ・各授業の振り返りをワークシート等を用いて実施し、1時間の授業で学んだ内容をまとめる等のアウトプットする学習場面を設定する。	・単元を見通した問いを生徒自身で設定させ、自分たちの作った課題を追究させる。 ・単元を見通した問いに対する各自の予想である「見通し」を設定させ、本時での学びが課題追究となる学習場面を設定する。 ・生徒の疑問や知りたいことをできる限り授業に反映して、授業を構築する。	・クラスルームを活用し、生徒の学習状況を把握し、助言や指導を実施するなど、学習改善につながる評価をできる限りこまめに行う。 ・記録に残す評価については、評価基準を生徒と共有した上で、(全員B基準以上を前提として)生徒自身が目指す目標を設定できるようにする。

◎単元（1～数十時間の学習内容のまとめ）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	地理 2 日本の地域 的特色	プロジェクト ー タブレット	12	単元の問い(仮)「現在の日本の自然環境や人口、産業には、どのような特色があるだろうか。」		
				・日本の自然環境や人口、産業の特色について、諸資料の読み取りをもとに理解し、その知識を身に付けている。 ・様々な地域区分を使い、地域的特色を示す方法を身に付けることができる。	・目的に応じた適切な地域区分を判断し、設定するために様々な面から考察し、表現している。	・現在の日本の自然環境や人口、産業にはどのような特色があるかという学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
7 9	地理 3-1 九州地方	プロジェクト ー タブレット	6	単元の問い(仮)「九州地方の自然環境と人々の生活にはどのような関わりがあるだろうか。」		
				・九州地方の自然環境を中核とした考察をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・九州地方の自然環境を表わす諸資料から地域的特色を示す有用な情報を読み取り、活用できている。	・九州地方の自然環境へ向けた取り組みをもとに、持続可能な社会へ向けて、様々な立場から考察し、表現している。	・九州地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
10 11	地理 3-2 中国・四国 地方	プロジェクト ー タブレット	6	単元の問い(仮)「本州四国連絡橋は地域にどのような影響を与えたのだろうか。」		
				・中国・四国地方の特色を自然環境、産業、結び付きなどの事象から関連つけて理解している。 ・主題図(人口分布・密度)雨温図、統計(人口動態・構成)景観写真等から、地域的特色を適切に読み取っている。	・人口や都市・村落を中核として、そこに生きる人々の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・中国・四国地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。

12 1	地理 3-3 近畿地方	プロジェクト ー タブレット	6	単元の問い(仮)「修学旅行で伝統文化や環境保全を学ぶ理想のルートを開発しよう！」		
				・近畿地方の地形や気候の特色, 産業, 京都や奈良の歴史的景観を守るさまざまな取り組みなどを基に, 近畿地方の地域的特色や課題を理解している。 ・産業を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と, それに関連する他の事象やそこで生ずる課題を理解している。 ・地図や雨温図から近畿地方の地形や気候の特色を適切に読み取る。 ・主題図や統計資料, 景観写真等の各種資料を用いて, 焦点化された事例である環境保全や阪神工業地帯及び林業や漁業の現状や課題, 歴史的景観を守るための工夫や努力を適切に読み取っている。	・近畿地方において, 産業を中核に設定した事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目して, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。	・近畿地方に関する学習について, 見通しをもって学習に取り組もうとし, 学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
2 3	地理 3-4 中部地方	プロジェクト ー タブレット	5	単元の問い(例)「東海地方・北陸地方・中央高地の産業の発展にはどのような要因があるだろうか。」		
				・中部地方の産業を中核とした考察をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 ・中部地方の産業の実態を表す諸資料から地域的特色を示す有用な情報を読み取り、活用できている。	・中部地方の地域的特色を、産業を中核とした考察をもとに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・中部地方に関する学習について見通しをもって学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。
評価材および評価方法				【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○定期考査○振り返りシート	【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○定期考査○振り返りシート	【学習改善につながる評価】 ○授業観察○机間指導 ○ワークシート記述へのコメント 【記録に残す評価】 ○振り返りシート